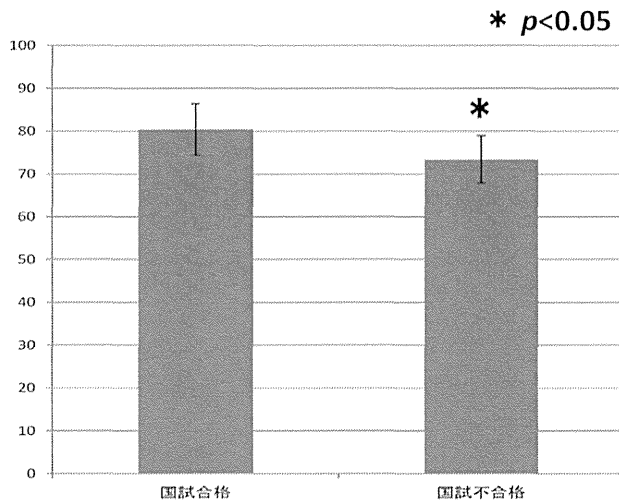


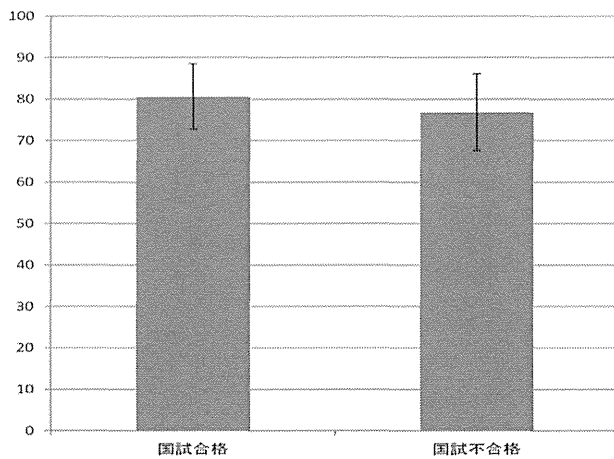
【私立歯科大学D】平成24年CBT、第107回国試

①CBT全体正答率



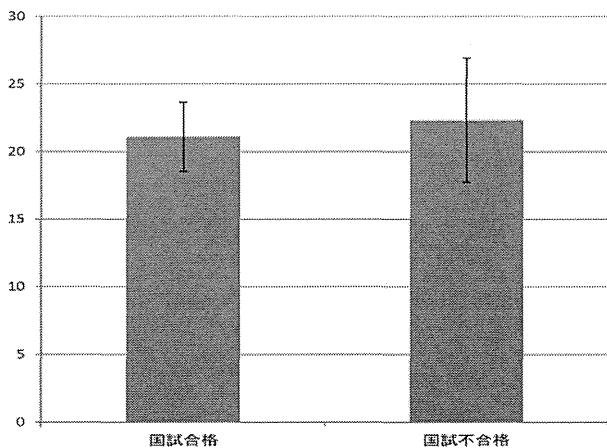
- ・平均値  
国試合格 80.38  
国試不合格 73.34
- ・標準偏差  
国試合格 5.96  
国試不合格 5.52
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.0231832642544054

②CBTのDE正答率



- ・平均値  
国試合格 80.56  
国試不合格 76.81
- ・標準偏差  
国試合格 7.90  
国試不合格 9.24
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.361200878806518

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

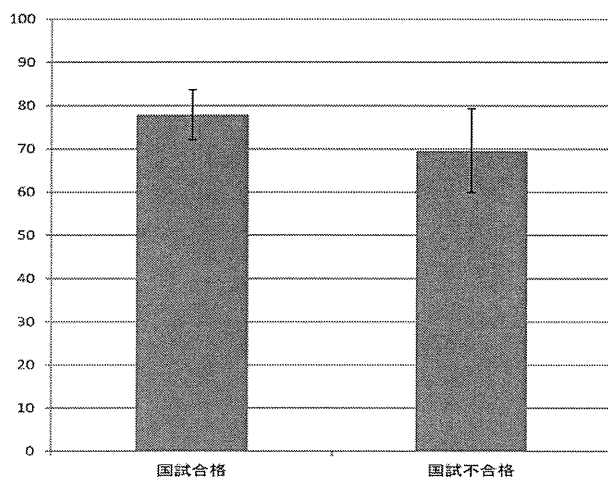


- ・平均値  
国試合格 21.08  
国試不合格 22.31
- ・標準偏差  
国試合格 2.57  
国試不合格 4.58
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.373445704508373

図4-1 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成24年）

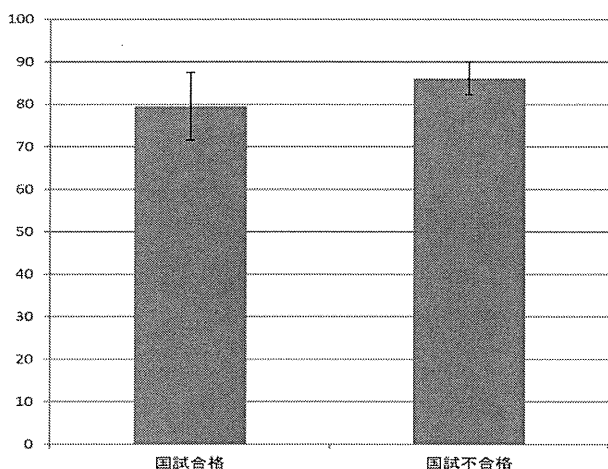
【私立歯科大学D】平成23年CBT、第106回国試

①CBT全体正答率



- ・平均値  
国試合格 77.95  
国試不合格 69.62
- ・標準偏差  
国試合格 5.77  
国試不合格 9.71
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.0515389855063754

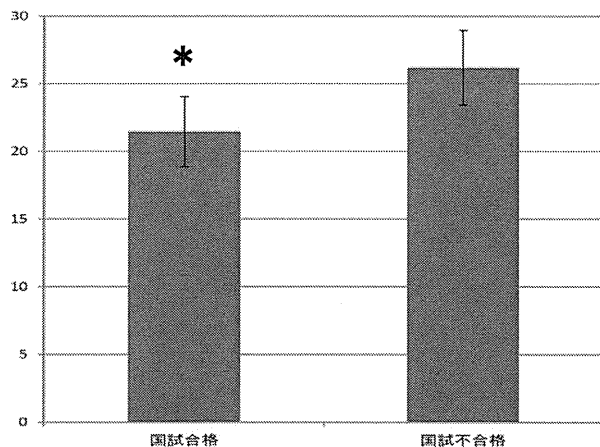
②CBTのDE正答率



- ・平均値  
国試合格 79.55  
国試不合格 86.18
- ・標準偏差  
国試合格 7.95  
国試不合格 3.82
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.246953021208075

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

\*  $p < 0.05$

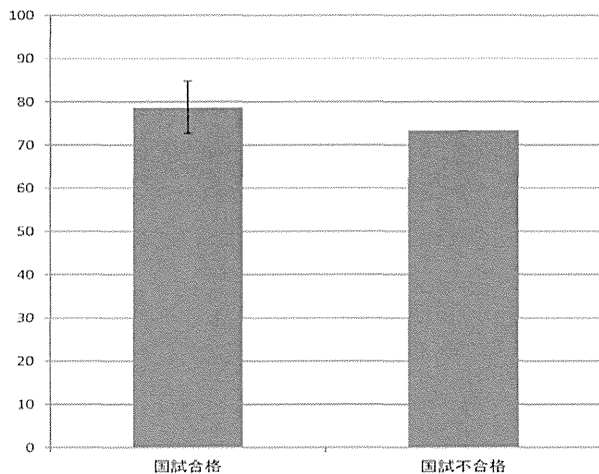


- ・平均値  
国試合格 21.46  
国試不合格 26.20
- ・標準偏差  
国試合格 2.60  
国試不合格 2.76
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.0129028892675535

図4-2 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合格別比較 (平成23年)

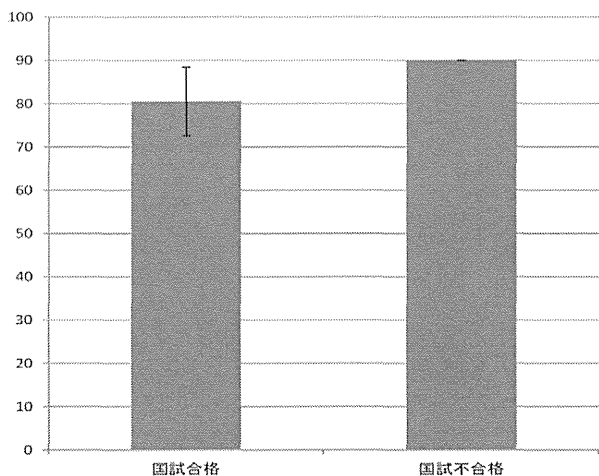
【私立歯科大学D】平成22年CBT、第105回国試

①CBT全体正答率



- ・平均値  
国試合格 78.71  
国試不合格 73.33
- ・標準偏差  
国試合格 6.06  
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.380984686278834

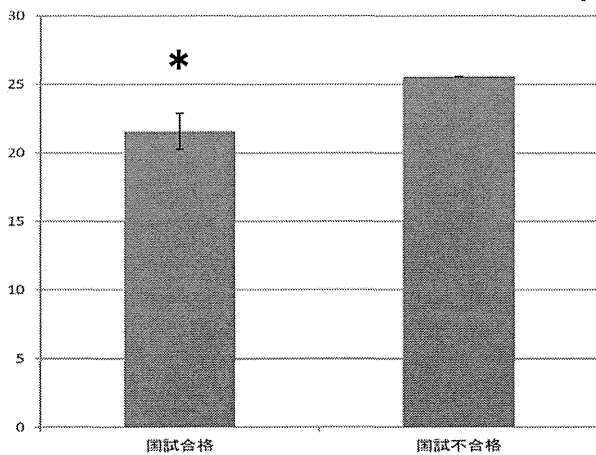
②CBTのDE正答率



- ・平均値  
国試合格 80.48  
国試不合格 90.00
- ・標準偏差  
国試合格 7.92  
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.236175358902913

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

\*  $p < 0.01$



- ・平均値  
国試合格 21.56  
国試不合格 25.57
- ・標準偏差  
国試合格 1.32  
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側  
→ 0.00316701153413666

図4-3 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成22年）

表 歯科医師国家試験出題基準とモデル・コア・カリキュラムとの項目比較

(衛生領域を除く基礎科目)

出題基準 必修			コアカリ	
大項目	中項目	小項目	項目	
2 社会と歯科医療	ウ 保健・医療・福祉・介護の制度	d 薬事法	C-5-1-①	* ①医薬品の分類を説明できる。
		a 薬物作用の種類(局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)	C-5-1-① C-5-2-① C-5-2-② C-5-2-③	* ①医薬品の分類を説明できる。 * ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 * ③薬物の作用機序を説明できる。
		b 薬物の適用方法	C-5-1-③ C-5-2-①	* ③日本薬局方を説明できる。 * ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】
		c 薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)	C-5-2-① C-5-3-②	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。
		d 薬物の効果に影響する因子(年齢、個体差、種差、性差、プラセボ効果)	C-5-2-①	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】
		e 薬物の作用部位	C-5-2-① C-5-2-③	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ③薬物の作用機序を説明できる。
		f 薬物の反復投与	C-5-2-① C-5-2-⑤	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ⑤薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および薬物依存)を説明できる。
	ヒ 薬物療法	g 用量と薬理作用(LD50、ED50、治療係数<安全域>、TDM<therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>)	C-5-2-① C-5-2-③ C-5-2-④	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ③薬物の作用機序を説明できる。 * ④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。
		h 薬物の併用(協力作用、拮抗作用)	C-5-2-① C-5-2-③ C-5-2-⑥	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ③薬物の作用機序を説明できる。 * ⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。
		i 薬物の副作用・有害作用(薬物アレルギー(アナフィラキシーショック)、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中枢神経障害)	C-5-2-① C-5-4-①	* ①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。

出題基準			コアカリ		
必修					
大項目	中項目	小項目	項目		
15 治療の基礎・基本手技		j 薬物投与上の注意(禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者)	C-5-2-① C-5-3-①	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。	
		k 薬物の保管・管理	C-5-2-① C-5-1-②	* ①薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 * ②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。	
	マ 歯科材料	a 基本的性質		D-1-①-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
		b 印象材		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
		c 模型材		D-2-④ D-2-⑤ D-2-⑥	* ④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 * ⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
		d 修復用材料		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
		e 合着・接着材		D-2-⑦	* ⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。
		f 義歯用材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
		g 予防填塞材		D-2-⑥	* ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
		h 歯内療法用材料		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
		i 切削・研削・研磨用材料		D-1-④ D-2-① D-2-②	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 * ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 * ②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論 I 保健医療論				
大項目	中項目	小項目	項目	
2 保健・医療・障害の概念	オ 薬事衛生法規		C-5-1-(1) C-5-1-(3)	* ①医薬品の分類を説明できる。 * ③日本薬局方を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅲ 人体の正常構造と機能				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 細胞、組織	ア 生態を構成する基本物質		C-1-1-① C-1-1-② C-1-1-③ C-1-1-④ C-1-1-⑤	* ①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 * ②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 * ③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 * ④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 * ⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。
	イ 細胞の構造・機能		C-1-3-① C-1-3-② C-1-3-③ C-1-3-④	* ①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。 * ②細胞の分泌と吸収機構を説明できる。 * ③細胞周期と細胞分裂を説明できる。 * ④細胞死(壊死とアポトーシス)の基本的機序を説明できる。
	ウ 細胞間情報伝達機構		C-1-4-① C-1-4-② C-1-4-③	* ①細胞の接着装置、細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。 * ②受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間、細胞内の情報伝達機構を概説できる。 * ③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能を説明できる。
	エ 遺伝子、遺伝		C-1-2-① C-1-2-② C-1-2-③ C-1-2-④ C-1-2-⑤	* ①遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。 * ②DNA複製と修復の機序を説明できる。 * ③転写と転写調節の機序を説明できる。 * ④翻訳の機序を説明できる。 * ⑤遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。
	オ 上皮組織		C-2-3-(1)① C-2-3-(1)② C-2-3-(1)④	* ①上皮を形態的および機能的に分類できる。 * ②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 * ④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。
	カ 支持組織		C-2-3-(1)-④ C-2-3-(1)-⑤ C-2-3-(1)-⑥ C-2-3-(1)-⑧	* ④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 * ⑤硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 * ⑥内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 * ⑧筋組織の構造と機能を説明できる。
	キ 筋組織		C-2-3-(2)-④	* ④骨格筋の構造と機能を説明できる。 【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】
	ク 神経組織		C-2-3-(5)-③ C-2-3-(5)-④ C-2-3-(5)-⑦ C-2-3-(5)-⑨ C-2-3-(5)-⑩	* ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 * ④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 * ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 * ⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。 * ⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。
	2 器官系	ア 骨格・筋系<運動器系>		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(2)-① C-2-3-(2)-② C-2-3-(2)-③



出題基準			コアカリ	
総論Ⅲ 人体の正常構造と機能				
大項目	中項目	小項目	項目	
	イ 消化器系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(6)-① C-2-3-(6)-② C-2-3-(6)-③	* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。 * ②身体の方向用語を正確に用いることができる。 * ①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 * ②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 * ③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。
	ウ 呼吸器系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(7)-① C-2-3-(7)-②	* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。 * ②身体の方向用語を正確に用いることができる。 * ①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 * ②肺の構造と機能を説明できる。 【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】
	エ 循環器系<脈管系>		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(3)-① C-2-3-(3)-② C-2-3-(3)-③ C-2-3-(3)-④ C-2-3-(3)-⑤ C-2-3-(3)-⑥ C-2-3-(11)-① C-2-3-(11)-② C-2-3-(11)-③ C-2-3-(11)-④	* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。 * ②身体の方向用語を正確に用いることができる。 * ①心臓の構造と機能を説明できる。 【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 * ②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 * ③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 * ④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 * ⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 * ⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 * ①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 * ②造血器を説明できる。 * ③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 * ④止血と血液凝固の機序を説明できる。 【線溶系を含む。】
	オ 泌尿器系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(9)-① C-2-3-(9)-② C-2-3-(9)-③	* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。 * ②身体の方向用語を正確に用いることができる。 * ①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 * ②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。 【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 * ③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。 【酸-塩基平衡を含む。】
	カ 生殖器系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(10)-①	* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。 * ②身体の方向用語を正確に用いることができる。 * ①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。 【ホルモンによる調節を含む。】

出題基準			コアカリ	
総論Ⅲ 人体の正常構造と機能				
大項目	中項目	小項目	項目	
	キ 神経系<中枢・末梢神経系>		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(5)-① C-2-3-(5)-② C-2-3-(5)-③ C-2-3-(5)-④ C-2-3-(5)-⑤ C-2-3-(5)-⑥ C-2-3-(5)-⑦ C-2-3-(5)-⑧ C-2-3-(5)-⑨ C-2-3-(5)-⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。</li> <li>* ②身体の方向用語を正確に用いることができる。</li> <li>* ①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。</li> <li>* ②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。</li> <li>* ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。</li> <li>* ④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。</li> <li>【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】</li> <li>* ⑤血液脳関門を説明できる。</li> <li>* ⑥反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。</li> <li>* ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。</li> <li>* ⑧神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。</li> <li>* ⑨シナプスにおける興奮伝達を概説できる。</li> <li>* ⑩神経伝達物質の種類と機能を説明できる。</li> </ul>
	ク 感覚器系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(4)-① C-2-3-(4)-② C-2-3-(4)-③ C-2-3-(4)-④	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。</li> <li>* ②身体の方向用語を正確に用いることができる。</li> <li>* ①皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。</li> <li>* ②深部感覚の受容器の構造と機能を説明できる。</li> <li>* ③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</li> <li>* ④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。</li> </ul>
	ケ 内分泌系		C-2-1-① C-2-1-② C-2-3-(8)-①	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ①身体の部位を解剖学的に区別できる。</li> <li>* ②身体の方向用語を正確に用いることができる。</li> <li>* ①各内分泌器の構造と機能およびホルモンを説明できる。</li> <li>【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</li> </ul>
3 免疫	ア 免疫系臓器、免疫担当細胞		C-3-2-② C-3-2-③	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。</li> <li>【抗体の種類と特徴を含む。】</li> <li>* ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</li> </ul>
	イ 免疫応答とその調整		C-3-2-④ C-3-2-⑤ C-3-2-⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。</li> <li>* ⑤アレルギーの分類を説明できる。</li> <li>【発生機序を含む。】</li> <li>* ⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。</li> </ul>
	ウ 自然免疫		C-3-2-①	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。
	エ 獲得免疫		C-3-2-① C-3-2-⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。</li> <li>* ⑦ワクチンの意義と問題点を説明できる。</li> </ul>

出題基準			コアカリ	
総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 頭頸部の構造	ア 頭頸部の骨		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	イ 頭頸部の筋		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ウ 頭頸部の脈管		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	エ 頭頸部の神経		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	オ 頭頸部の内臓		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	カ 顔面		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
2 口腔・顎・顔面の構造	ア 口腔前庭		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	イ 固有口腔		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ウ 口蓋		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	エ 舌		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	オ 口底		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	カ 唾液腺		C-2-3 C-2-3)-(1)③	人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。 * ③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。
	キ 頬		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ケ 口唇		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	コ 口峡		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	サ 嚥下		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	シ 味覚		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ス 顔面皮膚の感覚		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	セ 粘膜の感覚		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ソ 唾液分泌		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	タ 呼吸		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	4 歯・歯周組織の構造と機能	ア 歯の形態		C-2-3
イ 歯式			C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
ウ エナメル質			C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
エ 象牙質・歯髄複合体			C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
オ セメント質			C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
カ 歯肉			C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能				
大項目	中項目	小項目	項目	
	キ 歯根膜<歯周靭帯>		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	ケ 歯槽骨		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
	コ 歯・歯列の機能		C-2-3	* 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。
5 口腔の生態系	ア 唾液		C-2-3)-(1)-③	* ③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。
	イ 常在微生物叢		C-3-1)-②	* ②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。
	ウ プラーク<口腔バイオフィルム>		C-3-1)-①	* ①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 人体の発生・成長・発達・加齢	ア 生殖、初期発生		C-2-3)-(1)①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	イ 胎芽期		C-2-3)-(1)①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	ウ 胎児期		C-2-3)-(1)①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	エ 新生児期、乳児期		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	オ 幼児期、学童期		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	カ 思春期		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	キ 成長・発達の評価		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	ク 加齢、老化		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	ケ 骨格・筋系<運動器系>		C-2-3)-(1)⑧	⑧ 筋組織の構造と機能を説明できる。
2 機能の発達	ア 運動・感覚機能		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	イ 認知機能		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	ウ 言語機能		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	エ 情緒・社会性		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
3 歯・口腔・顎・顔面の発生	ア 顔面		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	イ 顎、口蓋		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	ウ 舌		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	エ 唾液腺		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	オ 顎関節		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	カ 歯の形成・萌出		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	キ 歯周組織の形成		C-2-2)-①	* ① 個体発生と器官発生を概説できる。
	ク 軟骨内骨化、膜内骨化		C-2-3)-(1)⑤ C-2-3)-(1)⑥	* ⑤ 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 * ⑥ 内軟骨性骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。
	ケ 骨の形成・吸収・改造<リモデリング>		C-2-3)-(1)⑦	* ⑦ 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。
	コ 石灰化機構		C-2-3)-(1)⑦	* ⑦ 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。
4 歯・顎・顔面・頭蓋の成長発育	ア 脳頭蓋の成長発育		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	イ 顔面頭蓋の成長発育		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	ウ 歯列・口蓋の成長発育		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
5 口腔・顎の機能の発達	ア 咀嚼		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	イ 嚥下		C-2-4)-①	* ① 人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢				
大項目	中項目	小項目	項目	
	ウ 唾液分泌		C-2-4)-①	*①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	エ 味覚		C-2-4)-①	*①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化	ア 形態的变化		C-2-4)-①	*①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。
	イ 機能的変化		C-2-4)-①	*①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 病因論	ア 染色体・遺伝子・発生の異常		C-1-2)-⑤	* ⑤遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。
	イ 環境と疾患		C-4-1	* 細胞傷害、組織傷害および萎縮の原因と形態的所見を理解する。
2 細胞組織の障害	ア 代謝障害(変性)		C-4-1-① C-4-1-②	* ①細胞傷害と組織傷害について説明できる。 【変性を含む。】 * ②壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。
	イ 萎縮		C-4-1-④	* ④萎縮と仮性肥大を説明できる。
	ウ 細胞死		C-4-1-③	* ③アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。
3 修復と再生	ア 口腔の診察・検査		C-4-2	* 修復と再生の意義とこれらの形態的所見を理解する。
	イ 肥大、過形成(増生)		C-4-1-④	* ④萎縮と仮性肥大を説明できる。
	ウ 化生		C-4-2-②	* ②化生を説明できる。
	エ 再生		C-4-2-①	* ①修復と再生について説明できる。
	オ 創傷治癒		C-4-2-① C-4-2-③	* ①修復と再生について説明できる。 * ③創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。
	カ 異物処理		C-4-2-④	* ④器質化を説明できる。
4 循環障害	ア 全身の循環障害		C-4-3-⑥ C-4-3-⑦	* ⑥浮腫の原因とその転帰を説明できる。 * ⑦ショックの成因と種類を説明できる。
	イ 局所の血液分布異常		C-4-3-① C-4-3-②	* ①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 * ②出血の原因、種類および転帰を説明できる。
	ウ 閉鎖性の循環障害		C-4-3-③ C-4-3-④ C-4-3-⑤	* ③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 * ④塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 * ⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。
5 炎症	ア 炎症の概念		C-4-4-①	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】
	イ 炎症の原因		C-4-4-① C-4-4-②	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】 * ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	ウ 炎症に関与する細胞		C-4-4-②	* ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	エ 炎症の機序・病態		C-4-4-① C-4-4-②	* ①炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】 * ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
	オ 急性炎症、慢性炎症		C-4-4-③	* ③滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。
	カ 肉芽腫性炎の種類・特徴		C-4-4-④	* ④肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
6 感染症、アレルギー、免疫疾患	ア 感染の概念		C-3-1-③	* ③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説明できる。
	イ 病原微生物		C-3-1-① C-3-1-②	* ①細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と基本的性状を説明できる。 * ②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。
	ウ 宿主側の因子		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	エ 感染症		C-3-1-④ C-3-1-⑤ C-3-1-⑥	* ④化学療法の目的、原理、作用機序および薬剤耐性機序を説明できる。 * ⑤新興・再興感染症について説明できる。 * ⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。
	オ 免疫不全		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	カ 自己免疫疾患		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
	キ アレルギー反応(過敏症)		C-3-2)-① C-3-2)-② C-3-2)-③ C-3-2)-④	* ①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 * ②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 * ③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 * ④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。
7 腫瘍	ア 腫瘍の概念		C-4-5-①	* ①腫瘍の定義を説明できる。
	イ 腫瘍発生の病因		C-4-5-②	* ②腫瘍の病因を説明できる。
	ウ 腫瘍の疫学		C-4-5-① C-4-5-②	* ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。
	エ 腫瘍の発育様式		C-4-5-⑥	* ⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。
	オ 腫瘍の組織学的構造		C-4-5-① C-4-5-②	* ①腫瘍の定義を説明できる。 * ②腫瘍の病因を説明できる。
	カ 構造異型、細胞異型		C-4-5-③ C-4-5-④	* ③異形成を説明できる。 * ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。
	キ 良性腫瘍、悪性腫瘍		C-4-5-⑤	* ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。
	ク 前癌状態、前癌病変		C-4-5-⑤	* ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。



出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
	ケ 腫瘍と宿主の関係		C-4-5-① C-4-5-②	*①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。
8 疼痛	ア 侵害受容性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	*①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 *③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	イ 神経障害性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	*①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 *③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	ウ 心因性疼痛		C-4-6-① C-4-6-② C-4-6-③	*①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】 *②疼痛の発生機序を説明できる。 *③疼痛の制御機構・方法の概念を説明できる。
	エ 口腔・顔面領域の疼痛		C-4-6-①	*①疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】
9 中毒、放射線障害	ア 中毒の発生要因・病態生理		B-2-4)-① C-3-1)-② C-5-2)-⑤ C-5-4)-①	環境による健康への影響を説明できる。 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 薬物の連用の影響(薬物耐性、蓄積および依存性)を説明できる。 薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。
	イ 放射線の身体的影響		E-1-2-②	*②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
	ウ 放射線の遺伝的影響		E-1-2-②	*②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
	エ 放射線の確率的・確定的影響		E-1-2-②	*②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。
10 医原病	ア 検査・診査に伴う医原病		E-4-1-⑨	*⑨矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。
	イ 治療に伴う医原病		E-4-1-⑨	*⑨矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。
	ア 先天異常・後天異常		E-2-4-(1)-① E-2-4-(1)-② E-2-4-(1)-③	*①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。
	イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周疾患・辺縁歯周組織の疾患		E-3-2-① E-3-2-② E-3-2-③ E-3-2-④ E-3-2-⑤	*①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。 *⑤口腔細菌、歯垢および歯石につ
	ウ 口腔粘膜の疾患		E-2-4-(4)-① E-2-4-(4)-②	*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋疾患の病因・病態	エ 唾液腺の疾患		E-2-4-(7)-① E-2-4-(7)-② E-2-4-(7)-③ E-2-4-(7)-④ E-2-4-(7)-⑤	*①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。
	オ 顎・顎関節の疾患		E-2-4-(6)-① E-2-4-(6)-②	*①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患(外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症)の症状、診断法および治療法を概説できる。
	カ 嚢胞		E-2-4-(5)-① E-2-4-(5)-② E-2-4-(5)-③ E-2-4-(5)-④	*①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。
	キ 腫瘍		C-4-5-① C-4-5-② C-4-5-③ C-4-5-④ C-4-5-⑤ C-4-5-⑥	*①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。
	ク 損傷		C-4-1-①	*①細胞傷害と組織傷害について説明できる。 【変性を含む。】
	ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患		E-2-4-(9)-① E-2-4-(9)-② E-2-4-(9)-③ E-2-4-(9)-④ E-2-4-(9)-⑤ E-2-4-(9)-⑥ E-2-4-(9)-⑦ E-2-4-(9)-⑧ E-2-4-(9)-⑨ E-2-4-(9)-⑩	*①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 *③口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。 *⑧口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。 *⑨口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。
	コ 口腔疾患の治療に伴う変化		E-2-4	口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因および診断・治療の基本的概念を理解する。
	サ リスクファクター		B-3-2-③	*③ライフステージにおける予防を説明できる。
ア 口腔の形態・機能の変化		E-4-3-②	*②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。	

出題基準			コアカリ	
総論Ⅵ 病因、病態				
大項目	中項目	小項目	項目	
12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化	イ 顎骨の形態変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	ウ 顔貌の変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	エ 顎関節の変化		E-4-3-②	* ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
	オ 全身への影響		E-4-3-① E-4-3-② E-4-3-③	* ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 * ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 * ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
13 個体の死	ア 死の概念・判定	*		
	イ 生物学的な個体の死			

\* 108回 A36  
(総論Ⅰ 保健医療論 5 歯科法医学にも関連)

関連出題:  
107回 A89、107回 C129、108回 C75

出題基準			コアカリ	
総論XI 歯科材料と歯科医療機器				
大項目	中項目	小項目	項目	
1 生体材料の科学	ア 有機材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	イ セラミック材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	ウ 金属材料		D-1-① D-2-⑥	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 * ⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】
	エ 複合材料		D-1-①	* ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】
	オ 物理的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	カ 機械的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	キ 化学的性質		D-1-②	* ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
	ク 生物学的性質と生体安全性		D-1-③	* ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。
2 診療用器械	ア 歯科用ユニット		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	イ エアータービン		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	ウ マイクロモータ		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	エ レーザー装置		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
3 切削、研削、研磨	ア 切削・研削工具		D-1-④	* ④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。
	イ 研磨剤		D-2-①	* ①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
	ア 酸化亜鉛ユージノール		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	イ モデリングコンパウンド		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。
	ウ 印象用石膏		D-2-③	* ③印象材の種類と特性を説明できる。